

(7) 屋嘉田潟原で漁獲される魚種

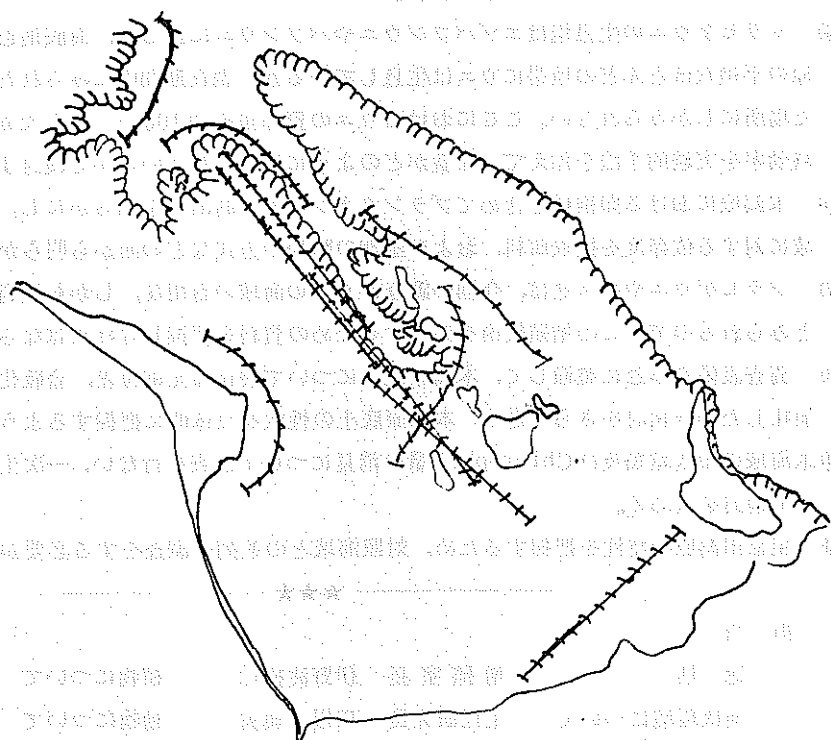
12月から1月における本裾礁内海域における漁獲魚種を漁師の漁獲物によって調べた。その結果は次表のとおりである。

第10表 冬期に三枚刺網で漁獲された魚種

	ハマ フェキ	シロダイ	ヒメジ	ブダイ 類	ボラ	ダツ	アオリ イカ	ガザミ	アイゴ	ナンヨウクマササ サヨリ	マササ ハナムロ	カスミ アジ
A 5日間	45	32	200	33	136	35	3	22				80
kg	60	112	100	30	107	27	10	5				60
B 13日間	154		930						440	10	90	130
kg	325		265						215	10	30	90

これによれば、冬期のこの海域における漁獲の多いのはハマフェキ、ヒメジ類、アイゴやヒラアジ類のカスミアジなどである。魚具は3枚刺網である。ブダイなどはブダイ追込み漁法によって、この海域で多獲されるのであるが、今回の調査結果には入れられなかった。この間の漁具設定の場所も示したが夜間になるとハマフェキ、その他の魚類が干潟海面上へあがってくる事が推測される。

この海域における魚介類生産量及び、それらの依存餌料などについては今後調査をすすめる予定である。



参考文献

具志堅 宗弘 沖縄の魚(1972)

第14図 三枚刺網の設置場所